

対話法の活用例 (K.Yさん)



1. 概況

私は民生委員・児童委員の任務をお受けして1年半になります。前任者からの引継時、毎月1回、一人暮らしの高齢者宅を訪問するよう申し送りがありました。

今回、80代の男性宅に、訪問した時の会話における〈対話法〉の活用例です。

この方は、大変お話好きな人で、毎週1回デイサービスを利用し、杖を使用して歩行しています。

訪問時間は1時間前後が普通です。それは、お話はあちらこちらと飛んだり、同じことを繰り返したりするためです。また、何を言いたいのか、何をしてほしいのか、はじめは真意がつかめず苦慮しました。その時に勉強中の「対話法の原則：自分の考えや気持ちを言う前に、相手が言いたいことの要点を、相手の言葉で確かめる」ことを意識して、会話の合間を見計らって実践してみました。

その結果、話の内容が整理され、確認しあうことで理解が深まり、お互いに気軽に話し合うことができ、信頼関係の構築につながったと思っています。

●は〈対話法〉の確認行為です。

2. 状況(抜粋)

「20代の時、中国で戦っていました。行軍中、右足が側溝の隙間に入り膝関節を負傷、それが元で、年を取るにつれて痛みが強くなってきてねえ～。医者に診てもらっているんですが・・・前は、赤外線で暖めたり湿布などしていましたが、今は、痛み止めの薬を飲んでいるのみです。」

●今も、右膝関節が病めるんですね。

「一番困るのは、歩行がままならないため、買物に行くことが大変なんです。初めは、手押し車につかまって行きましたが、道路を横断する時、車にはねられはしないか、ハラハラでした。今は、買物は10日に1回くらい、ヘルパーさんにたのんでいます」

●交通事故に細心の注意を払っていたんですね。

ヘルパーさんをお願いして安心したんですね。

「燃やせるごみ・生ごみ、燃やせないごみは、何とか杖をつきながら置き場にもって行きます。＊新聞・雑誌・ダンボールの運搬は、専用の空気タイヤ二輪運搬車で運びます。雨の日はあきらめます。時には、通りがかりの人が手伝ってくれますが・・・でも、近所の人に迷惑をかけられないしねえ。」

●自分でできることは、自分でやろうと思っているんですね。

(*印：帰るとき、実演して見せてくれました)

「町内会の会費は集金に来るのでいいんですが、回覧板は隣の家を持って行く順番になっています。その家の玄関は、段差の小さい3つの階段があり、また、その場所には鉢（花）が置いてあります。私にとっては、その上り下りと転倒して鉢を壊すのではと、気をつけて大変時間がかかります。そのため、特に、風雨の日は、ずぶ濡れになるんですよ～」

●回覧板の順番をなんとかしてほしいと、困っておられるんですね。

(注：訪問時、集金係の人が来たので、状況を説明し回覧板の順番を最後にしていただくよう班長さんに申入れてほしいと、私からお願いしました。回覧板は、班長さんが取りに来ることになります)

「小雪の時は、玄関から市道まで（約7m）、何とか足踏みで通路を確保しています。用事のある人に迷惑をかけたくないので……。大雪の時は、是非、除雪をお願いできませんか？ やろうと思っても、スコップですくった雪を投げ捨てられません。両足の踏ん張りがきかなくなってきたので……」

●大雪の時は除雪できないので、困っておられるんですね。

市役所をお願いしてみます。

(要援護世帯除雪費助成決定。時々、私が除雪しています)

